

市民と市長の意見交換会<赤泊地区> 質疑要旨

日時：令和4年3月13日（日）10：00~11:35 会場：赤泊総合文化会館

参加人数：16名

1. 市政について

市長より説明	<p>(説明内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染対策の現状について ○佐渡金山の世界遺産登録について ○病院及び医療問題について ○佐渡汽船 航路及び経営問題について ○航空機就航の状況について ○低炭素社会づくりについて ○健康寿命日本一を目指して ○子育て支援の推進について ○支所・センターの拠点化について ○市民の皆さんへのお願い（意見を聞かせてください。SCでだめなら、直接本庁へ連絡してください。）
--------	--

2. 質疑

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
① (赤泊上町第一)	電源について、風力発電や太陽光発電に対する考え方を聞きたい。	<p>○ 佐渡全体の太陽光発電については状況が大きく変わった。以前は、佐渡は電源容量が小さく東北電力は自然エネルギーを入れたくないとの考え方であったが、古いディーゼルエンジン発電機を廃止し、その分を自然エネルギーで補う方向に変わってきた。</p> <p>市では太陽光発電の屋根貸しによる収入を見込んでいる。市としては基本的に売電は考えていない。本庁（新庁舎）・支所等の駐車場、両津港等に太陽光パネル設置を想定している。</p> <p>○ 風力発電は佐渡の場合、まだまだ先になると思う。莫大な設備費用が掛かることや大きな変電設備が必要なこと、加えて余剰電力の用途が必要だが、太陽光発電同様に売電は考えていない。</p>	企画課
② (腰細)	両泊航路の復活をお願いしたい。 物流（運送）について、関東方面と関西方面ではどちらが多いのか？	<p>○ 航路について即答はできないが、民間の海運会社も様々な考えがあるようだが、市としても物流の安定が今後の課題となる。今後県と協議する中で民間が対応することも航路安定の一つの在り方だと思うが、もう少し時間をいただきたい。優先すべきは佐渡汽船の経営再建である。真摯に取り組む。</p> <p>○ 物流について正確な数字はないが、関西にはほとんど物流はない。ほとんどが関東物流だと把握している。</p>	交通政策課
③ (畑野地区)	限界集落（高齢化集落支援事業）補助金について、用途が限定的すぎるので、もっと使い勝手を良くしていただきたい。	<p>○ 例として社協の「ごむしんネット」のような助け合いのシステムが地域でできないかと考えている。</p> <p>地域において、お金ではなく地域での助け合いについて話し合いをすることが大事だと思う。</p> <p>また、補助金が活用しにくいから補助対象を拡げていくというのは難しいと思う。予算が莫大に増え、それに見合う効果が必要になるので、何が必要でどういった使い方をするか議論をしなければならない。</p> <p>今後、地域とSCが議論をしながら地域を元気にするための仕組みを検討しなければならず、意見を聞きながら進めていきたい。</p>	建設課 地域振興課

市民と市長の意見交換会<赤泊地区> 質疑要旨

3. 自由質疑

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
④ (大杉)	<p>高齢者独居世帯が死亡後、市外在住相続人が相続放棄により山林等が国庫帰属の可能性があるが、その場合、市が国からの払下げを受けることで集落管理をしやすくしてほしい。</p> <p>また、孤独死させないためのシステムの構築をお願いしたい。</p>	<p>○ 今後発生するであろう相続放棄された山林等を、すべて市が所有するのは現状では無理である。活用方針があつてということなら個々に議論するしかないと思う。</p> <p>○ 使える空家住宅はいくつか寄付を受けて移住定住用として活用しており、今後市営住宅の新設は不要と考えている。新たな活用の仕組みを考えていかなければならない。但し、市が買い取るということは想定していない。空き家と住宅を欲しい方のマッチングも進めていきたいと考えている。</p> <p>○ 高齢者の見守りの仕組みは、先般民間の内閣府事業を活用した職員の受け入れをしている。高齢者の安全の仕組みについては今後のICT化の中で考えていきたい。加えて、簡易な証明書の交付や広報・回覧物等のデジタル化も考えているのでもう少し時間をいただきたい。</p>	<p>防災管財課 移住交流推進課 高齢福祉課</p>
⑤ (蕙場)	<p>世界遺産登録を控え両津港から相川地区(金山)を訪れると</p> <p>①両津市街地が暗いイメージであること</p> <p>②佐渡東警察署が廃止されたことで、観光客が増加した場合の治安面の不安</p> <p>③看板設置(整備)等の計画について話を聞かせていただきたい</p>	<p>○ 看板の設置は基本的に考えていない。景観上の問題もあるし、スマホアプリへの情報発信やマップシステムとの連携は既に可能な状況なので、それらの対応を進めている。</p> <p>○ 両津港、加茂湖周辺等は玄関口としての整備が徐々に始まっている。商店街を商店として復活することは、買い物は大型店への指向があり難しい。佐和田地区ではワーキングシェアの拠点として旧商店街の活用が進んでおり、両津地区でもそのような仕組みで賑やかさを取り戻したいと考えている。様々な街づくりを考えていきたい。</p> <p>大きなメインの看板は県と調整していきたいと考えている。</p>	<p>観光振興課 地域振興課 移住交流推進課 建設課</p>
⑥ (赤泊上町第一)	<p>赤泊総合文化会館の外壁・小児用便器等、公園等周辺設備、遊具等を改修し今後見込まれる観光客への対応など、有効な活用につなげられたい。</p>	<p>旧赤泊村は合理的な街づくりがされてきたと思う。文館は大事な施設と考えるが、全体像として、稼働率の側面からも簡易修繕ならまだしも、抜本的な建替えが必要になった場合に議論となるが、この全体の仕組みづくりを今年本格的な協議に入っていきたいと考えている。</p> <p>不便、危険な箇所を優先的に対応しているので、積極的にSC等へ話してほしいと考えている。</p>	<p>社会教育課 建設課</p>
⑦ (柳沢) ⑧ (畑野地区)	<p>県道両津・真野・赤泊線の赤泊側の道路改良を急がれたい。</p> <p>県へ要望されたい。</p>	<p>用地交渉がうまくいっていないようにも聞いているが、この件は県へしっかりと話していく。</p> <p>国の財源の確保が必要だが、この財源は県を経由するので県の予算配分にも影響される。</p> <p>市内人口の拠点地域への偏在の解消のためにも、道路整備が必要で注力しなければいけない。道路整備は時間がかかるが、皆さんから要望をあげていただくことで国・県と交渉していける。国境離島向けの予算確保が市長の一番の仕事と考えている。</p>	<p>建設課</p>
⑨ (腰細)	<p>赤泊漁港の斜路滑材が老朽化により船の上げ下げに難儀しており、早急に対応されたい。8年前から要望している。漁港の高上げも要望しているが</p>	<p>詳細は把握していないので農林水産課に確認する。漁港は莫大な予算が必要で全体の長寿命化計画に載らないと事業実施とはならないが、計画に搭載されているか調査します。</p> <p>【赤泊SCより】市営漁港でありであり、市から国に予算要望しております。今後も強く要望していきます。</p>	<p>農林水産課</p>

市民と市長の意見交換会<赤泊地区> 質疑要旨

<p>⑩ (山田中)</p>	<p>緑の食糧戦略による2050年までの肥料、農薬低減に向け世界遺産登録の取り組みとの連携を考えているか。これを目指して動き出している農業グループに対し、機械等の支援について情報提供願いたい。</p> <p>また、椎茸栽培について、東北震災後6年間くらい種ゴマ・原木の購入、作業道開設の補助制度があったが現在は廃止され農家は意欲を削がれた。いずれかの支援をお願いしたい。</p>	<p>○ 「緑の食糧戦略」については、SCまたは農業政策課に相談してみてください。</p> <p>○ 椎茸に関しては、具体的把握はしていないが新年度予算に支援制度を再び盛り込んだので活用してほしい。</p>	<p>農業政策課</p>
<p>⑪ (市議)</p>	<p>継続しているコロナ禍において、不特定多数のお客さんを受け入れての祭り等の実施について悩んでいるが、どうしたら実施できると市長は考えていますか？</p>	<p>新潟県では新規感染者数が高止まりした状態ながら「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の延期をしなかった。重点措置を延長した地域は医療機関の対応が問題となっている。新潟県知事等もコロナの中でどう踏み込んでいこうと考えているので、外部の者を受け入れる場合、一定期間の健康観察をするなどのルールづくりを協議する時期になっている。</p> <p>withコロナの中で社会生活を取り戻す年と考えているので、市として統一して対応していけるよう庁舎内全体で協議したいと考えている。</p>	<p>観光振興課 防災管財課</p>
<p>⑫ (大杉)</p>	<p>昨年4月の意見交換会でお願いした保健師の旧市町村への配置と、記載するときの文字数を減らすため「行政サービスセンター」ではなく「支所」に変更をされたい。</p>	<p>支所・SCの在り方の問題だと思っている。新年度の組織再編に伴う人事配置について、一人一人の配置では業務にムラが出てくる。数人でワンチームを組まない仕事はやりにくい部分がある。これは保健師業務に限らない。</p> <p>支所・SCの在り方自体も、今後もう少し時間をかけて、地域とどのように密着していくかを考えていきたい。</p>	<p>総務課</p>